豊田には、2つの木材ブランドがあります

CRAFT WOOD
born in Toyota

100%豊田市産の木材を、地域の職人たちの手で作り上げるオーガニックな木材。顔が見える流通だから、オーダーメイドも可能です。暮らしの中の小さな「あったらいいな」を叶えます。豊田の木で家を建てたい方、手作りを楽しみたい方に。

MAKER WOOD
made in Toyota

最新の設備で効率よく製造し、人工乾燥により求められる品質をジャストタイムでお届けします。愛知県や矢作川流域を中心に広いエリアから集めた木材をブレンドし、大きな需要にもお応えします。工務店や中大規模建築に対応します。

一般社団法人 ウッディーラー豊田
〒470-0307 愛知県豊田市東広瀬町高根下 24-1
TEL.0565-77-3773 / E-mail.info@woodealer.jp

http://woodealer.jp/

Instagram

森づくりのまち豊田から

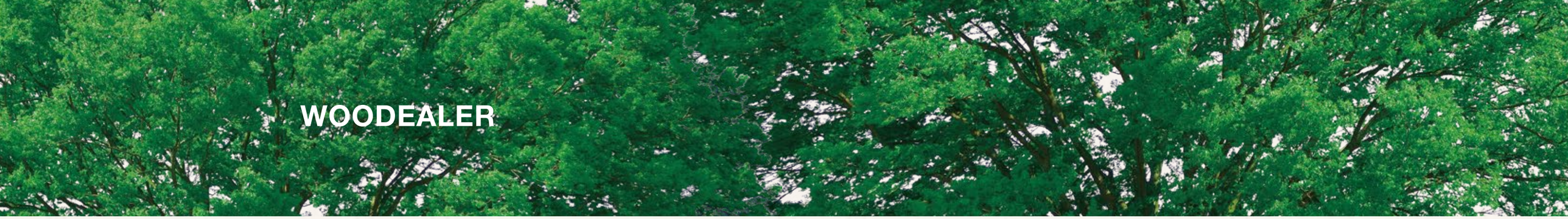
ウッディーラー豊田が
すすめる

5つの使い方

Regional Materials Use Casebook

地域材利用事例集

WOODEALER



ごあいさつ

私たちウッディーラー豊田は2018年4月に設立しました。小中学校や子育て施設、駅前など、まち中には徐々に木製品が増え、「木材の利用による健全な森の育成」、「森と人との距離を近づける」といった私たちのミッションは会員の皆さまのご支援の下、一歩ずつ歩みを進めております。木造・木質化を行った施設や木製品を使用していただいている方々からは、「スギやヒノキの香りがして心が落ち着く」、「木のぬくもりに癒される」などのお声をいただいており、あらためて木の持つ魅力を実感しております。

木の流通は、よく川の流れに例えられ、森林管理や原木生産を担う川上、原木流通や製材加工を担う川中、建築や家具の材料として利用する川下とされ、西三河地域を潤す矢作川はかつて、木材を運び、森と人々の暮らしをつなげる交通網でありました。2005年の合併により、豊田市は森林都市となり、市域の約7割を占める森林は、現在「森のダム」として、水資源の貯留、水質の浄化、洪水の緩和といった皆さまの暮らしを支える大きな役割を果たしています。

成長した木を伐採して木製品にし、暮らしの中で使用して森の植生を豊かにする。こうしたサイクルが森のダム機能を保ち、美しく健全な森をつくります。このサイクルを円滑に進めるため、私たちは「森づくり」と「ものづくり」をつなぐ役割を担っています。

豊田の森から生まれる木は、愛知県全体の原木生産量の3割を超え、その品質は、香り高く木肌が美しい強度のある上質な素材として、木材関係者から高く評価されています。

また、2018年度には、地域材の加工・流通の中核を担う製材工場が完成し、成熟した森林資源の活用が加速しています。さらには、新国立競技場のような大規模な建造物にも木材が使われ、脱プラスチックなどの環境配慮の面からも木材利用に注目が集まっています。

このたび、私たちは木材利用のさらなる推進のため、豊田市内に点在する木製品をまとめた地域材利用事例集を作成しました。本編に掲載されている木製品に興味を持っていただけた方、豊田の木材を使用したい作家の方やDIYに興味がある方、木材に関するどんなご相談でもお待ちしております。

90を超える会員(2019年現在)と協力し、100%豊田市産の木材を使用した「クラフトウッド」と品質にこだわった「メーカーウッド」の2つのブランドをお届けします。

この事例集をご覧いただき、大きな建物から身近な家具まで、地域の木材を少しでも暮らしの中に取り入れていただけたら幸いです。

ここで紹介する木製品にはすべて豊田の木が使用されています。

「木を使いたい」「木を届けたい」をつなげる 木のディーラー「WOODEALER」

ミッション

1 森と人の距離を近づけ、豊田に住む人、森にかかわる人の暮らしと心を豊かにします
2 木材の利用により、人工林の手入れを促進し、健全で美しい豊田の森をつくります
3 木材産業の発展と創出により地域経済を活性化します

目次

ウッディーラー豊田がすすめる 5つの使い方
Regional Materials Use Casebook

地域材利用事例 01 **遊ぶ**
「三河高原キャンプ村」木製遊具 ―― 03
「香恋の館」木製遊具
とよた子育て総合支援センターあいあい ―― 04

地域材利用事例 02 **仕切る**
キッズパーテーション ―― 05
オフィスパーテーション
リグニファイ ―― 06
ベルトパーテーション

地域材利用事例 03 **つくる**
とよたの木バッチ／SDGsバッチ／コースター ―― 07
イーゼル
さかなパズル／フォーミュラーカー／どうぶつ車／ネームホルダー
エコ・マルシェプレート ―― 08
三角スツール
Ha:mo ステーションバリケード
6歳になったら机をつくろう！「学習デスク」
ステーショナリープレート

地域材利用事例 04 **彩る**
アーバンファニチャー ―― 09
オフィスファニチャー
「とよしば」木造コンテナ・ウッドデッキ ―― 10
ペデストリアンデッキ（ルーバー）
豊田スタジアム／ヴェルデロッソ ―― 11
（貴賓室テーブル・レストラン椅子）
矢作川河川敷（白浜公園・駐車場車止め 他）
バイクラック
n6 ウッドデッキ ―― 12
T-FACE B館　6F フリースペース
トヨタテクニカルセンター下山（トヨタ自動車株式会社）／事務所棟受付

地域材利用事例 05 **集う**
寺部こども園／寺部小学校 ―― 13
寿恵野こども園／前林交流館 ―― 14

ウッディーラー豊田が
すすめる
5つの
使い方
Regional Materials Use Casebook

地域材利用事例

01 遊ぶ

地元で育った木で遊び、学ぶ。「木育」は、ウッディーラー豊田が設立当初から掲げてきたテーマです。子どもたち一人一人の心の中に「小さな森」が育つように、幼いころから木と触れ合える環境を作っています。
下山地区にある「三河高原キャンプ村」と「香恋の館」、豊田市駅前にある「とよた子育て総合支援センターあいあい」では、ボルダリングをはじめとした木製遊具が設置されています。屋内はもちろん、屋外の厳しい環境でも定期的に簡易メンテナンスを行えば、10年から15年といった長期間、木製遊具を使用していただけます。
また、屋外では、自然の景観にマッチする木製遊具ならではの良さがあり、触れたときに冷たくないのも特徴です。子どもたちが全身で遊ぶ遊具だからこそ、木のぬくもりを肌で感じていただきたいです。

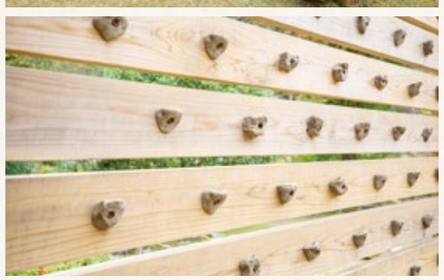
三河高原キャンプ村 木製遊具

CRAFT WOOD born in Toyota

三河高原キャンプ村に2019年に設置されました。キャンプやバーベキューの際に是非、ロープ丸太渡りと、高さ2.5mのクライミングウォールに挑戦してみてください。

香恋の館 木製遊具

CRAFT WOOD born in Toyota



三河湖のふもとに設置された香恋の館では、ボルダリングなど、木に触れながら自然の中で思い切り体を使って遊べる遊具が待っています。

施設管理者の声

館長 和出 隆典さん

木材を使った遊具等を作ることで、子どものころから木のぬくもりや香りに触れることができ、良さを知ってもらえたらうれしいです。

とよた子育て総合支援センターあいあい

MAKER WOOD made in Toyota

モッキンガム

2018年11月に豊田市産材を使った木育空間としてリニューアルオープンしました。よちよちゾーン、わんぱくゾーン、せいさくゾーン、みはらしテラスなどがあり、豊田市の中心市街地にありながら、まるで森の中で遊んでいるような気分になる子育て施設です。

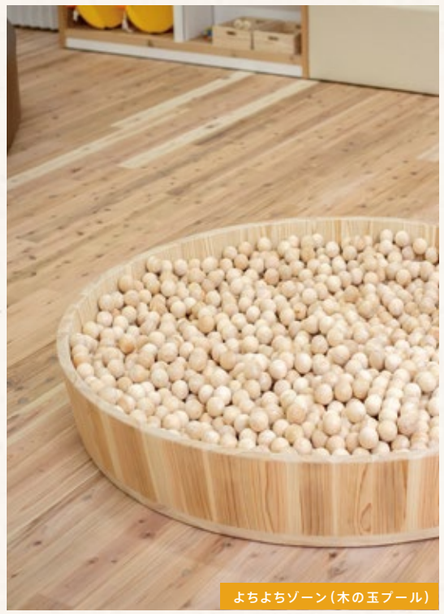
モッキンガム

わんぱくゾーンに設置されている巨大遊具です。

木の玉プール

よちよちゾーンに設置されている遊具です。0歳からでも遊んでいただけます。

よちよちゾーン



よちよちゾーン（木の玉プール）

施設管理者の声

所長 近藤 幸子さん

「木はいいですよね。温かくて優しい香りがして。森の中にすっぽり包まれている感じがします。」と小さいお子さんを連れたお母さんから、感想をいただきました。地元、豊田市産材を使った環境が、子どもたちの日常を豊かなものにし、心を育んでいきます。

ウッディーラー豊田がすすめる 5つの使い方
Regional Materials Use Casebook

地域材利用事例

02 仕切る

日本人は昔から、木でつくられた障子やついたてなどで空間を仕切ってきました。
ぬくもりある素材の木を使って空間を仕切ることで、完全に空間を断絶することのない、「安心感」や適度な人との「つながり」を感じることができます。ウッディーラー豊田では、2018年度に、「キッズパーテーション」「オフィスパーテーション」「ベルトパーテーション」等を開発しました。「キッズパーテーション」は2019年11月に松坂屋豊田店で開催された「ウッドトイカーニバル2019」や、「とよた子育て総合支援センターあいあい」に試験的に設置してもらい、好評を得ました。
ベルトパーテーションのベルト部分の色やパーテーションの形状など、各製品バリエーションが豊富で、利用者に親しみを持ってもらえるようにと設計しています。

キッズパーテーション

幼稚園や保育園などの子育て施設、公民館、ショッピングモールなどでご利用いただける、遊び心のあるデザインのパーテーションです。リズムのあるデザインで子どもたちの興味を引きつけます。

豊田市産ヒノキ
サイズ:W900×H600×D60
(ベース板D400)

キッズパーテーション利用事例

松坂屋豊田店ウッドトイカーニバル2019にて

リグニファイ

利用事例:とよたガーデニングフェスタ

豊田市産スギの105mm角の規格材を使用。オプションの床材、サイン用袖パネル、テント用シートを合わせて設置することが可能です。オフィス内の商談や休憩・カフェスペースとして、屋内外で様々な用途に応えます。

豊田市産スギ
サイズ:W3,600×D2,400×H2,400

リグニファイ利用事例

イベントでの休憩スペースとして利用

オフィスパーテーション

居心地の良い空間を演出します。飲食店や会社のオフィスでご利用いただけます。

ブラインドパーテーション／
豊田市産ヒノキ･オイル仕上げ
サイズ:W1,200×H1,800×D75
(ベース板D400)

バーチカルパーテーション／
豊田市産ヒノキ･オイル仕上げ
サイズ:W900×H1,600×D75
(ベース板D400)

ベルトパーテーション

丸棒の部分に豊田市産のスギを使用することで、温かみのあるベルトパーテーションに仕上がりました。施設･オフィス運営やイベントでご利用いただけます。

豊田市産ヒノキ
サイズ:H910×D350×φ60

ウッディーラー豊田がすすめる 5つの使い方
Regional Materials Use Casebook

地域材利用事例

03 つくる

豊田市には板材を自由に変身させる職人がたくさんいます。
「糸のこアート」の篠田さんもその一人です。糸のこを巧みに操り、形が細かい魚のパズルやフォーミュラーカーを作ることができます。こういった職人が多くいることは豊田市の特徴であり、魅力の一つといえます。
また、レーザー加工機やUVプリンターなど、先進技術を導入することで、木製品に細かい文字を入れることや、精密な小物を作ることも可能になりました。
暮らしの中にもっと木を。使うほどにゆっくりと変化していく、木でつくられたものは、暮らしの中に自然となじみ、また、一つ一つ木目や色が違う地域材でつくられた製品は、差し上げる方にもその存在感やぬくもりを伝えます。

とよたバッチ ／ SDGs バッチ ／ コースター

レーザー加工機を使用することで、小さな物にでも細かい文字やデザインを入れることができ、色を着けることも可能です。

イーゼル

商業施設や文化施設など、景観に合わせて設置していただけます。

豊田市産ヒノキ
サイズ／
イーゼル:W800×H1,670×D900
額縁:W683×H930×D24

額縁はA1のポスターサイズ

さかなパズル ／ フォーミュラーカー ／ どうぶつ車 ／ ネームホルダー

糸のこを自在に操り、様々な作品が生まれました。ここではその中の一例をご紹介。

製作者の声

糸のこアート 篠田 正英さん

地域の木材を使用して作る木の作品を通して、地域の子どもたちにものづくりの楽しさを味わってもらいたいという思いから、仲間たちと集まって作品を作り続けています。

エコ・マルシェプレート

2019年1月「西三河5市環境フェスタ」にて200枚無料配布したプレート。当日は数十分で配布終了となりました。

三角スツール

樹齢100年を超える豊田市産スギと自動車関連企業が製作したステンレスフレームを生かした三角スツール。組合せ方でベンチやラックなどの活用ができます。

Ha:moステーションバリケード

薄いスチールの脚と組み合わせて重量を確保しながら繊細でシャープなデザインにしました。またレーザー加工で関係各社のロゴを刻印しています。

6歳になったら机をつくろう！「学習デスク」

小学校入学前の子どもを対象に2019年8月と11月にイベントを開催。塗装もしていない木肌を感じながら、親子でのこぎりやドリルなど本格的な工具を使用して豊田市産材で自分の学習机を作りました。

ステーショナリープレート

木部は豊田市産ヒノキ。木材と工業製品（マット材、アルミ材）が融合したプレート。カギや万年筆、メガネ置きとして、デスクを飾る大人のインテリアグッズです。

サイズ:W210×H105×D15

ウッディーラー豊田がすすめる
5つの使い方
Regional Materials Use Casebook

地域材利用事例

04 彩る

まちなかのベンチやテーブル、よく行くお店の内装まで。最先端の自動車産業のまちでありながら、人々の暮らしの中で地域材という自然の恵みはどんどんと増え、息づいています。
2018年度から豊田市駅前に設置され始めた木製ベンチとテーブルの「アーバンファニチャー」をはじめ、2019年9月に豊田市駅東口にオープンした「とよしば」、矢作川河川敷や商業施設の中にも、ここ数年で多くの木製品がまち中で見られるようになりました。
中でも、木と鉄の組み合わせにより、「締まり」が感じられる「アーバンファニチャー」は、駅前に設置され、景観づくりに一役買っています。

アーバンファニチャー

豊田市駅前に並ぶテーブルとベンチ、大小のプランター。メンテナンスと更新を容易にする為、規格の木材とスチールのフレームで構成されています。

《仕様》
テーブル:W1,800×D900×H700
豊田市産スギ 120角材　脚部:スチール製

ベンチ:W1,800×D900×H700
豊田市産スギ 120角材　脚部:スチール製

プランター:W900×D900×H900
面材:豊田市産スギ　脚部:スチール製

オフィスファニチャー

アーバンファニチャー同様木材とスチールのフレームで構成されています。ミーティングデスクを合わせ全6種のパターンがあります。

《仕様》
パターンA:
W1,440×D720×H720
天板:豊田市産スギ圧縮材
脚部:スチール製

パターンB:
W1,440×D720×H720
天板:豊田市産スギ圧縮材
脚部:スチール製

パターンC:
W1,440×D720×H720
天板:豊田市産スギ圧縮材
脚部:スチール製

パターンD:
W2,200×D900×H720
天板:豊田市産スギ圧縮材
脚部:スチール製

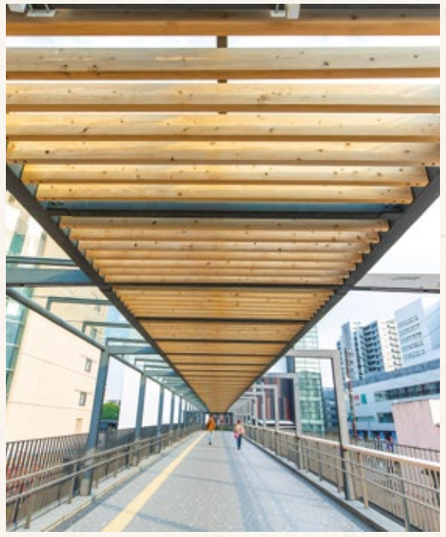
パターンE:
W1,440×D720×H720
天板:ステンレス製
脚部:豊田市産スギ

パターンF:
W1,440×D720×H720
天板:強化ガラスt8
脚部:豊田市産スギ

「とよしば」 木造コンテナ・ウッドデッキ

まちなかの交流拠点に木造コンテナの施設が完成しました。一部カフェスタイルの店舗と、レーザー加工機を導入したラボスペース、インターネット配信やラジオ収録ができるスタジオが併設しています。

「ペデストリアンデッキ」ルーバー



豊田市駅の周辺歩道に木製ルーバーが採用されました。

設計者の声

(株)SOCI 大藪 善久さん

まちなかの様々な公共施設やパブリックスペースを、木材によって柔らかく人にやさしい印象でつなぐことを目指しました。古くなった木部のみを更新し、サステナブルな仕組みを心がけています。

ウッディーラー豊田がすすめる 5つの使い方
Regional Materials Use Casebook

地域材利用事例

04 彩る

豊田スタジアムにあるレストラン「ヴェルデロッソ」には、おしゃれな椅子が納入され、地域の木材を感じながら食事ができます。
また、n6のような耐久性が求められる屋外ウッドデッキには「エステック処理」を施し耐久性能を高めています。
商業施設には、法規に準じた「防火処理」や「塗装」をして内装木質化を提案しています。さらには、トヨタテクニカルセンター下山でもロビーの受付に地域材を使用したカウンターが設置してあり、環境保護や森林保全の大切さを世界に向けて発信しています。

豊田スタジアム／ヴェルデロッソ（貴賓室テーブル・レストラン椅子）

MAKER WOOD made in Toyota

貴賓室

レストラン

レストラン

レストラン

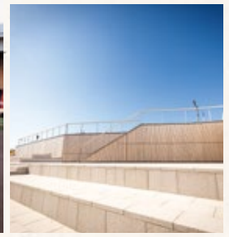
豊田スタジアムの貴賓室には濃紺を基調としたテーブルを設置し、VIPをお迎えします。
レストラン「ヴェルデロッソ」には、スギの圧縮材を使ったチェアでおもてなしいたします。

《仕様》
貴賓室テーブル
豊田市産スギ圧縮材

レストラン椅子
豊田市産スギ圧縮材

矢作川河川敷（白浜公園・駐車場車止め 他）

CRAFT WOOD born in Toyota



豊田市の白浜公園の駐車場及び壁面、トイレに豊田市産材が利用されました。

バイクラック

CRAFT WOOD born in Toyota

しもやま再来るプロジェクトや市役所からの依頼で、バイクラックを作成しました。女性ひとりでも手軽に設置ができ運びやすい仕様にしております。

n6 ウッドデッキ

MAKER WOOD made in Toyota

デッキ材には、スギ材に保存加工の「エステック処理」を施し、屋外での長期使用に対応しています。

T-FACE B館 6Fフリースペース

MAKER WOOD made in Toyota

T-FACE B館 6Fの休憩スペース「T-SIDE SQUARE」には、施設のアクセントとして木質化された空間があり、フロアへの滞在時間の向上に貢献しています。

トヨタテクニカルセンター下山（トヨタ自動車株式会社）／事務所棟受付

MAKER WOOD made in Toyota

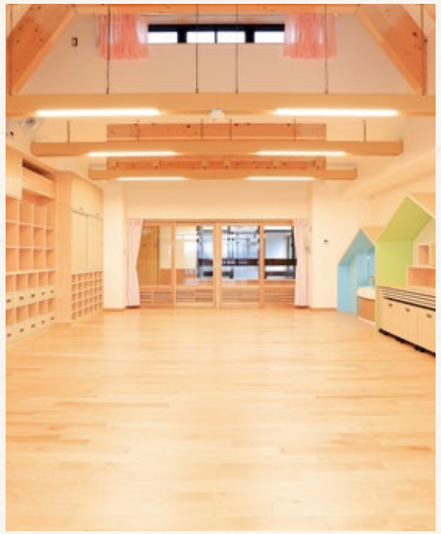
事務所棟、ロビーの受付にあるカウンターとローテーブルには、豊田市産ヒノキが利用されており、木目の美しさを生かしたデザインとなっています。

地域材利用事例

05 集う

公共施設においても、木材利用の事例が増えています。
安全性と遮音性を確保しつつ、木のぬくもりが存分に感じられる、設計士のこだわりが詰まった「寺部小学校」と「寺部こども園」（併設）は「木の見せる化」の成功事例といえるでしょう。建築基準法に定められている耐火性能を確保し、外観や保育室内にも木材がふんだんに使用されています。
最近では、「新国立競技場」にも木材が使用されるなど、木材利用の幅が広がっており、木材の良さが認知されてきています。

寺部こども園



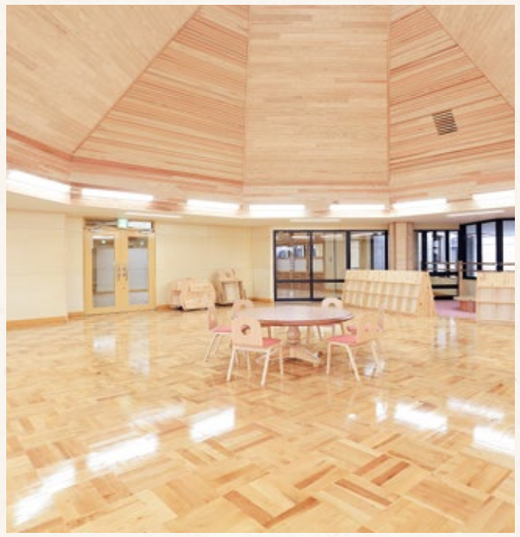
燃しろ設計を一部採用するなど、建築基準法により求められる耐火性能を確保しつつ、外観や保育室を中心に「木材の見せる化」をしています。

《施設の概要》
木造一部鉄骨・鉄筋コンクリート造の小学校・こども園の合築建築物です。

2016年３月完成
延べ床面積：2,374.8㎡
木材使用量：355.4㎥
うち豊田市産材：144.1㎥

《主な使用樹種》
構造材：ヒノキ
造作材：スギ

寺部小学校



建築基準法により求められる耐火性能を確保するため、木造部分を鉄筋コンクリート造で区画することで、最大限の木造化を行っています。また、構造材は、120角×4本組柱、3～6段組梁を使用しています。

《施設の概要》
児童と園児が交流できるように共有ピロティを設けるとともに、２階の交流スペースでこども園と接続しています。

2016年３月完成
延べ床面積：8,554.5㎡
木材使用量：1,039.6㎥
うち豊田市産材：584.5㎥

《主な使用樹種》
構造材：ヒノキ、カラマツ(LVL)

寿恵野こども園

遊戯室の小屋組においては燃えしろ設計により「木材の見せる化」をしています。

《施設の概要》
「豊田市公共建築物等の木材利用の促進に関する基本方針」による初の大規模木造建築物です。

豊田市では、2012年7月に当該基本方針を定め、市が整備する低層建築物は、原則木造化・木質化することを推進しています。

2013年８月完成
延べ床面積：2,163.3㎡
木材使用量：447.6㎥
うち豊田市産材：258.1㎥

《主な使用樹種》
構造材：ヒノキ
造作材：スギ・ヒノキ

前林交流館

市民にわかりやすい木造化として、日常的に目に触れる外観では、雨にあたりにくい箇所を中心に木材を使用し、コミュニティーホール等の内観は柱・梁材を表面化しています。

《施設の概要》
木造平屋建て、燃えしろ設計を採用した準耐火建築物とし、木の現しを実現しています。

2016年３月完成
延べ床面積：1,601.1㎡
木材使用量：324.0㎥
うち豊田市産材：269.0㎥

《主な使用樹種》
構造材：スギ・ヒノキ
造作材：スギ・ヒノキ